

厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. シラバス（授業概要）について

授業科目については教務会議で教育指針を決定し、その指針に基づいて各科目担当教員により、授業の方法や内容、到達目標、成績評価の方法を記載したシラバス（授業概要）を作成していただいております。また、シラバス（授業概要）を日本メディカル福祉専門学校のホームページにて公表を行う。

シラバスに（授業概要）より、各試験、レポート、平常点（学習の意欲）の割合などを記載し、それに則って、各教員より成績評価をいただく。

また複数の教員が授業を行う場合は、全ての成績を合算し、平均をとって最終的な成績評価としている。

2. 成績評価について

公表しているシラバスの内容に基づき、以下の方法にて成績評価を行っている。

- ① 学業成績は、授業概要に記載のある各科目の「単位認定の方法及び評価の基準」に基づく客観的基準により決定される。
- ② 評価は、秀（100点～90点）優（89点～80点）・良（79～70点）・可（69～60点）・不可（59点以下）で60点以上を合格とし、それに満たないものは不合格とする。
- ③ 客観的評価 GPA 制度について
GPA とは、「Grade Point Average」の略で、授業科目の成績評価に対して点数 GP (Grade Point) を与え、その点数に各科目の単位数を乗じた合計を、各学年の科目の総単位数で割って算出した平均値のことをいう。

成績評価基準と GP

| 成績評価 | GP | 備考 |
|------|----|------------------------------|
| 秀 | 4 | 到達目標を十分に達成しており、優れた成果をおさめている。 |
| 優 | 3 | 到達目標を十分に達成している。 |
| 良 | 2 | 到達目標を達成している。 |
| 可 | 1 | 到達目標を最低限達成している。 |
| 不可 | 0 | 到達目標を達成していない。 |

GPA の計算例 $GPA = (\text{科目の単位数} \times GP) \text{ の合計} / \text{全科目の単位数の合計}$

*小数点第2位下四捨五入、*分母の総単位数には、不合格科目の単位数を含む

3. 各学科における卒業の認定に関する方針

(1) 臨床工学科

本校臨床工学科に3年以上在籍し、必修科目が全て合格であると卒業が認定され、専門士の称号が与えられます。卒業が認定されると臨床工学技士国家試験受験資格が与えられます。

臨床工学技士として必要な知識、技術力を持ち、医師や他の医療スタッフと連携し、チーム医療を実現していく。また、他の医療スタッフとの情報の共有のためのコミュニケーション能力を身につける。患者さん対応などで人に対していたわりの心で接する事の出来る人間力を身につけていること下記の能力を身につけた人材に専門士の称号を授与します。

- ① 高度な先端医療機器を扱うために必要な知識と技術力
- ② チーム医療に必要な協調性とコミュニケーション能力
- ③ 医療人としてふさわしい人間力

(2) 臨床工学専攻科

本校臨床工学専攻科に2年以上在籍し、必修科目が全て合格であると卒業が認定されます。卒業が認定されると臨床工学技士国家試験受験資格が与えられます。

臨床工学技士として必要な知識、技術力を持ち、医師や他の医療スタッフと連携し、チーム医療を実現していく。また、他の医療スタッフとの情報の共有のためのコミュニケーション能力を身につける。患者さん対応などで人に対していたわりの心で接する事の出来る人間力を身につけていること下記の能力を身につけた人材に専門士の称号を授与します。

- ④ 高度な先端医療機器を扱うために必要な知識と技術力
- ⑤ チーム医療に必要な協調性とコミュニケーション能力
- ⑥ 医療人としてふさわしい人間力

(3) こども福祉学科

「こども福祉学科」(昼間2年の通学制)は、ソーシャルワークの力量を兼ね備えた保育士の養成を目標とし、「保育士」とソーシャルワークの基礎資格としての「社会福祉士」のWライセンスの取得をめざして、卒業時に「保育士」の資格を取得するのに必要な科目、および「社会福祉士」の国家試験受験に必要な科目を中心に学び、各々の専門的知識と技術及び価値観を持った保育者を育成することをめざしている。

以下の資質・能力を身に付け、所定の68単位を修めた者に学位(専門士)を与える。

1. 教育・保育に必要な専門性

一人ひとりの子どもの最善の利益を第一に考え、子どもを理解し、援助する保育者として、保育を通してその福祉を学び、探究し向上しようとする態度を有している。

2. 保育の実践技術力

保育現場での経験が豊富な講師の指導により、保育のプロとして求められる実践的な技術を習得している。

3. 人間力・適応力

社会人としての教養、豊かな感性を身に付け、子どもの立場に立って共感できる力を身に付けている。また、コミュニケーション力を発揮し、他と協働しながら様々な問題に対応し解決できる実践力を習得している。

(4) 保育士科

「保育士科」(3年の通信制)は、地域や時間に縛られず、多様な可能性が発揮できる学びの場で、根拠に裏付けされた実践力と対象者への深い慈しみの心を持った保育士の養成を目標とし、卒業時に「保育士」の資格取得に必要な科目履修にとどまらず、共生社会を支えることのできる人材育成をめざしている。

以下の資質・能力を身に付け、所定の68単位を納めた者に学位(専門士)を与える。

1. 教育・保育に必要な専門性

一人ひとりの子どもの最善の利益を第一に考え、子どもを理解し、援助する保育者として、保育を通してその福祉を学び、探究し向上しようとする態度を有している。

2. 保育の実践技術力

保育現場での経験が豊富な講師の指導により、保育のプロとして求められる実践的な技術を習得している。

3. 人間力・適応力

社会人としての教養、豊かな感性を身に付け、子どもの立場に立って共感できる力を身に付けている。また、コミュニケーション力を発揮し、他と協働しながら様々な問題に対応し解決できる実践力を習得している。

(5) 日本語学科 (昼間 2 年)

当学科では、大学等の高等教育進学に対応でき、日本での社会生活に支障のない総合的な日本語能力の習得を目標とし、日本語能力試験 (JLPT) N1、N2、N3 合格と日本留学試験 (EJU) の高得点 (250 点以上) 取得を目指してそれに必要な科目を中心に学ぶとともに、日本の生活様式や慣習等の文化に対する知識も深めながら、語学能力と異文化理解の両面において優れた人材の育成を目的としている。

学則に定める授業科目を履修して、所定の単位を取得し、以下に定める要件を満たした者に対して卒業を認定し、文化教養専門士の学位を授与する。

- 1、学則に定められた授業科目及び単位数を取得している。
- 2、日本での高等教育進学および社会生活に支障のない必要十分な日本語の語学知識と運用能力を修得している。
- 3、豊かな教養と広い見識を修得している。

(6) 日本語学科 (昼間 1、5 年)

当学科では、大学等の高等教育進学に対応でき、日本での社会生活に支障のない総合的な日本語能力の習得を目標とし、日本語能力試験 (JLPT) N1、N2、N3 合格と日本留学試験 (EJU) の高得点 (250 点以上) 取得を目指してそれに必要な科目を中心に学ぶとともに、日本の生活様式や慣習等の文化に対する知識も深めながら、語学能力と異文化理解の両面において優れた人材の育成を目的としている。

学則に定める授業科目を履修して、所定の単位を取得し、以下に定める要件を満たした者に対して卒業を認定する。

- 1、学則に定められた授業科目及び単位数を取得している。
- 2、日本での高等教育進学および社会生活に支障のない必要十分な日本語の語学知識と運用能力を修得している。
- 3、豊かな教養と広い見識を修得している。

(7) 日本語学科 (昼間1年)

当学科では、大学等の高等教育進学に対応でき、日本での社会生活に支障のない総合的な日本語能力の習得を目標とし、日本語能力試験 (JLPT) N1、N2、N3 合格と日本留学試験 (EJU) の高得点 (250 点以上) 取得を目指してそれに必要な科目を中心に学ぶとともに、日本の生活様式や慣習等の文化に対する知識も深めながら、語学能力と異文化理解の両面において優れた人材の育成を目的としている。

学則に定める授業科目を履修して、所定の単位を取得し、以下に定める要件を満たした者に対して卒業を認定する。

- 1、学則に定められた授業科目及び単位数を取得している。
- 2、日本での高等教育進学および社会生活に支障のない必要十分な日本語の語学知識と運用能力を修得している。
- 3、豊かな教養と広い見識を修得している。